

**平成26年度 指定管理者年度総合評価表**  
(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年 6月 5日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市市民活動サポートセンター	
所在地	八戸市根城八丁目8番地155号 八戸市総合福祉会館3階	
施設概要	<p><b>【設置の目的】</b> まちづくり活動やボランティア活動など、市民の自主的・自発的な営利を目的としない公益性のある活動を支援し、市民の多様な社会活動への参加を促進し、市民主体のまちづくりを進める。</p> <p><b>【施設内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交流サロン (77.7㎡) パソコンやロッカー、メールボックスなどを設置し、少人数での会議も行うことができる打合せスペース。</li> <li>・ワークステーション (19.425㎡) コピー機や印刷機などを配置し、会議の資料やチラシを作成することができる作業スペース。</li> </ul>	
指定管理者	名称	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
	代表者	会長 田口 豊實
	所在地	八戸市根城八丁目8番地155号 八戸市総合福祉会館
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの施設及び設備を市民活動のための利用に供すること</li> <li>・市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること</li> <li>・その他市民活動の促進のための事業及びそのために必要な便宜を提供すること</li> <li>・センターの使用の許可に関する業務</li> <li>・センターの施設、設備等の維持管理に関する業務</li> <li>・その他市長が必要と認める業務</li> </ul>	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 市民連携推進課 市民協働グループ	
	電話	0178-43-9207 (直通)
	E-mail	renkei@city.hachinohe.aomori.jp

## ■指定管理者による自己評価

<p>評 価</p>	<p><b>【管理運営業務】</b> 平成 26 年度管理運営については、指定管理包括協定書や業務基準書に基づき、管理運営の目標である、関係法令・市民の平等利用・利用者本位のサービス等適正に管理運営業務を行った。また、施設運営の基本的な考え方を踏まえ、登録団体から運営委員を募集して会議を開催し、各委員の意見を反映するように努めた。</p> <p><b>【施設・設備等の維持管理業務】</b> 設備等の維持管理業務の実施計画に基づき、設備器具等の定期点検、調整等を実施した。印刷機の故障により一時的に使用できない場合は、法人本部（社協）所有の印刷機等の使用を認め対応した。また、管理責任者（センター長）及び副管理責任者（社協担当課職員）を選任し、物品等の維持管理に努めた。</p> <p><b>【自主事業の実施計画】</b> 事業計画に基づきボランティアセンターとの協働事業として各講座を開催した。 ボランティアミニ講座については、平成 26 年度より実行委員会を組織して開催内容を検討し、対話型の講座として開催した。講座では、参加者が思い描いている市民活動やボランティア活動に対する考えを聞くことに重点を置いた。 市民活動&amp;NPO講座については、入門編と実践編をそれぞれ開催。従前から開催している昼間のコースに加え、就業者も参加しやすいよう夜間のコースを設け、受講者の拡大を図った。 また、法人単独の自主事業であるわいぐ交流会についても、実行委員会を組織して開催内容を検討。登録団体を対象に行っているアンケートの結果に基づき、若い世代と交流を図る内容で開催したところ、多くの参加者を得ることができ、若い世代との交流や登録団体間の交流が図られるとともに、センターの活性化を図ることができた。</p>
<p>今後の目標</p>	<p><b>【相談機能の充実】</b> 市民活動サポートセンター（わいぐ）の周知に努めるとともに、NPO法人やボランティア団体・市民活動団体等の相談に適切に対応し団体活動の活性化を支援する。</p> <p><b>【講座修了者への支援体制の充実】</b> 利用者本意の運営に努め、参加者が望む講座の開催並びに講座修了者に対して活動に向けたサポート体制の充実を図ることを目指す。</p> <p><b>【団体との連携事業の実施】</b> 市民活動サポートセンター（わいぐ）の自主事業においては、他団体同士の連携を重視して取り組んでいく。 また、登録団体同士が連携して事業が展開できるよう支援する。</p>

## ■市（所管課）の総合評価

<p>評 価</p>	<p>全体的に、協定書や業務基準書、事業計画書に基づいて適切に管理運営業務を遂行しており、サポートセンターの総利用者数及び登録団体数は前年度より増加した。 市民活動やボランティア活動への理解と活動の裾野を広げるため、ホームページの定期的な更新やアンケート調査の実施、わいぐサポーターによる相談業務を継続して実施していた。 また、自主事業として行われたボランティアミニ講座や市民活動&amp;NPO講座では、受講者の参加機会の拡充を図るなど、開催内容の見直しが図られており、利用者のサービス向上に努めたと認められる。</p>
<p>指摘事項</p>	<p>市民活動やボランティア活動への理解と活動の裾野を広げるため、今後も一層のPR活動に努めるとともに、引き続き利用団体の意見を反映した施設運営や登録団体間の情報交換、連携強化を図り、市民活動のサポート及び活性化に努めること。 また、協働のまちづくりの推進に向け、更なる地域貢献活動の充実に期待する。</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

## 1 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	事業計画のとおり開館時間や休館日を遵守し、休館日等であっても社会福祉協議会の勤務時間であれば適宜開館するなど、柔軟に対応していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していた。
適正な人員配置	◎	市民活動やボランティア活動の経験者を採用し、利用者が多い時間帯は業務基準で示した以上の人員で柔軟に対応していた。
従事者の労働環境確保	○	最低賃金等の労働関係法令を遵守し、福利厚生センターへの加入やサポーター同士の交流会の開催、意見・要望等の確認を実施していた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	—	指定管理者募集時の障がい者雇用計画では、障がい者から有償ボランティア(サポーター)に応募があった際には積極的に受け入れることとしていたが、平成26年度にサポーターを募集した際には障がい者からの応募がなかったため、雇用がなかった。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容と同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・平成22年度に締結した「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」を契機として、平常時から市と協働で安全・安心なまちづくりの実現に取り組んでいた。
従事者の教育・研修	◎	サポーター研修(接遇研修・避難誘導訓練等を含む)が非常に良く行われていた。
緊急事態への対応	◎	災害や事故に対する非常災害時における事務要綱を作成しており、非常時の対応訓練も実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書は適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画書、月例報告書、事業報告書、その他報告書等の提出が遅滞なく適切にされていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、確実に利用者へ周知を行い、管理も適正に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	法人本部で専用口座にて管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の職員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。

施設の使用許可及び条件	△	施設使用許可申請時の利用料金に関する説明が不十分な事例が確認されたため、平成 26 年 7 月に改善勧告を行った。 ・その後は、施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
交流サロン利用状況	◎	利用者数が前年度実績を上回った。 平成 25 年度 4,118 人 平成 26 年度 4,695 人 ・前年度比 577 人増加 (対前年度比 114%)
ワークステーション利用状況	○	利用者数は前年度実績を下回ったが、印刷機やコピー機等の実費収入は前年度実績を上回った。 平成 25 年度 利用者数 1,586 人 実費収入 468,390 円 平成 26 年度 利用者数 1,504 人 実費収入 495,720 円 ・利用者数前年度比 82 人減少 (対前年度比 95%) ・実費収入前年度比 27,330 円増加 (対前年度比 106%)
市民活動団体登録状況	◎	登録団体が前年度実績を上回った。 平成 25 年度 196 団体 平成 26 年度 206 団体 ・前年度比 10 団体増加 (対前年度比 105%)
有償ボランティア活動状況	◎	市民の自主的・自発的な参画を図るため、市民活動サポートセンターの運営に有償ボランティア制度を採用している。 平成 25 年度 延べ人数 1,661 人 (登録 35 人) 平成 26 年度 延べ人数 1,703 人 (登録 37 人) ・前年度比 42 人増加 (対前年比 103%)
自主事業	◎	市民活動やボランティア活動に関する講座を開催し、市民活動の促進に努めている。また、市民が参加しやすいよう開催方法を一部変更するなど、見直しが行われた。 ・ボランティアセンターとの協働事業として開催 市民活動&NPO講座 (入門編) 昼の部 2 回開催 (参加者 40 人) 夜の部 2 回開催 (参加者 24 人) 市民活動&NPO講座 (実践編) 昼夜各 1 回開催 (参加者 23 人) NPO・ボランティアミニ講座 6 回開催 (参加者 56 人)  ・単独での開催 わいぐ交流会 1 回開催 (参加者 73 人)

<p>施設利用促進のための取組み</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動サポートセンターの情報誌を例年と同様に年4回発行し、PRした。</li> <li>ホームページを定期的に更新していた。</li> <li>わいぐサポーターによる相談業務を月1回開催、登録団体の増加につなげた。</li> <li>わいぐパネル展の開催 開催回数 5回 開催日数 延べ53日 展示参加団体 延べ149団体</li> </ul>
<p>その他の取組 (運営に関する工夫)</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営会議の開催 運営会議を年3回開催し、登録団体より参加している運営委員へ事業及び計画等の報告をするとともに、各委員よりわいぐの利用及び市民の活用に向けた意見等を聞き運営に取り組んだ。</li> <li>わいぐ交流会の開催 登録団体とサポーターにより実行委員会を組織し、今年度は6回の打合せ会議を行い検討した結果、交流会では高校生や高専生のボランティアグループをゲストとして招き、日頃の活動発表を行うとともに、わいぐ登録団体の活動紹介を行うことで、相互の活動理解が図られた。 また、グループ懇談では参加団体との情報交換等が行われ、会員並びに若い世代との交流が図られた。</li> </ul>

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																								
<p>指定管理業務の収支状況</p>	<p>○</p>	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="635 1149 1461 1709"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用料金</td> <td>72,000</td> <td>42,400</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>6,014,000</td> <td>6,014,000</td> <td>6,024,000</td> </tr> <tr> <td>交流会参加費</td> <td>30,000</td> <td>27,000</td> <td>23,500</td> </tr> <tr> <td>実費収入</td> <td>514,000</td> <td>495,720</td> <td>468,390</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>58,275</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,630,000</td> <td>6,579,120</td> <td>6,622,165</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>4,592,000</td> <td>4,245,984</td> <td>4,328,943</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>879,000</td> <td>777,471</td> <td>882,378</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>791,000</td> <td>665,079</td> <td>616,054</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>368,000</td> <td>487,342</td> <td>192,814</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,630,000</td> <td>6,175,876</td> <td>6,020,189</td> </tr> <tr> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>22,000</td> <td>※79,275</td> </tr> <tr> <td>収入－支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>381,244</td> <td>522,701</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前年度実績の次年度修繕料繰越金 79,275 円については、指定期間満了により精算・返納済み。</p>	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	利用料金	72,000	42,400	48,000	指定管理料	6,014,000	6,014,000	6,024,000	交流会参加費	30,000	27,000	23,500	実費収入	514,000	495,720	468,390	修繕料繰越金	0	0	58,275	計	6,630,000	6,579,120	6,622,165	人件費	4,592,000	4,245,984	4,328,943	維持管理経費	879,000	777,471	882,378	事業費・一般事務費	791,000	665,079	616,054	租税	368,000	487,342	192,814	計	6,630,000	6,175,876	6,020,189	次年度修繕料繰越金③	0	22,000	※79,275	収入－支出(①-②-③)	0	381,244	522,701
項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																							
利用料金	72,000	42,400	48,000																																																							
指定管理料	6,014,000	6,014,000	6,024,000																																																							
交流会参加費	30,000	27,000	23,500																																																							
実費収入	514,000	495,720	468,390																																																							
修繕料繰越金	0	0	58,275																																																							
計	6,630,000	6,579,120	6,622,165																																																							
人件費	4,592,000	4,245,984	4,328,943																																																							
維持管理経費	879,000	777,471	882,378																																																							
事業費・一般事務費	791,000	665,079	616,054																																																							
租税	368,000	487,342	192,814																																																							
計	6,630,000	6,175,876	6,020,189																																																							
次年度修繕料繰越金③	0	22,000	※79,275																																																							
収入－支出(①-②-③)	0	381,244	522,701																																																							

自主事業の収支状況	○	自主事業については、市民活動やボランティア活動への理解促進と活動の裾野を広げるため、市民にPRする機会として位置づけており、収益を上げることが目的としていない。なお、収入不足分は指定管理者が負担している。 (単位：円)																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">収入</td> <td>事業収入</td> <td>64,000</td> <td>66,300</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> <td>12,236</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>64,000</td> <td>78,536</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">支出</td> <td>イベント経費</td> <td>57,000</td> <td>71,536</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>7,000</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>64,000</td> <td>78,536</td> </tr> <tr> <td colspan="2">収入-支出</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	収入	事業収入	64,000	66,300	繰入金	0	12,236	計	64,000	78,536	支出	イベント経費	57,000	71,536	その他経費	7,000	7,000	計	64,000	78,536	収入-支出		0
	項目	収支計画	収支実績																										
収入	事業収入	64,000	66,300																										
	繰入金	0	12,236																										
	計	64,000	78,536																										
支出	イベント経費	57,000	71,536																										
	その他経費	7,000	7,000																										
	計	64,000	78,536																										
収入-支出		0	0																										

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者からの意見をアンケート調査のほか、意見箱やメールで把握し、登録している市民活動団体により組織されている運営会議で対策を協議していた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ホームページ、リーフレット、情報誌、ハンドブックで周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	平成26年度も、来客者への周知として、センター内に苦情受付体制のチラシを掲示しPRが行われていた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望に対し、適切に対応していた。 ・平成25年度実績 1件(要望1件) ・平成26年度実績 1件(苦情1件)
個人情報の保護	○	社会福祉協議会の個人情報保護規程が整備され、職員や有償ボランティアに対し個人情報保護に関する研修会を行った。(運用実績なし)
情報公開	○	ホームページ上で事業計画や報告、収支予算・決算が公開されていた。また、社会福祉協議会の経理規程の中に、資金状況に関する計算書類の開示が盛り込まれ整備されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	◎	秘密保持義務が守られ、従業員に研修会で注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	施設内の節電や裏紙の再利用に努め、対応を適切に行っていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業、終業時には、パソコン・印刷機等の点検・確認をした。</li> <li>・備品については、使用前後に点検をした。</li> <li>・利用率向上のため、登録団体へのアンケートを実施した。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	・業務実施状況報告書、業務完了報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	12回	4月22日	GL、担当	運営会議 13名（25年度事業報告、26年度事業計画、交流会）
		5月14日	担当	48号情報誌委員会 9名（委員及び市担当職員、社協）
		7月3日	担当	わいぐ交流会実行委員会 12名（組織会、開催日・内容協議）
		7月24日	担当	49号情報誌委員会 8名（委員及び市担当職員、社協）
		8月26日	担当	わいぐ交流会実行委員会 14名（開催内容、役割分担検討）
		10月16日	GL、担当	運営会議 13名（上半期報告、アンケート結果報告等）、わいぐ交流会実行委員会 14名（開催内容、役割分担検討）
		10月28日	担当	50号情報誌委員会 8名（委員及び市担当職員、社協）
		11月13日	担当	わいぐ交流会実行委員会 15名（タイムテーブル検討）
		12月16日	担当	わいぐ交流会実行委員会 14名（申込み状況確認、タイムテーブル確認）
		1月8日	担当	わいぐ交流会実行委員会 15名（開催内容最終確認）
		1月23日	担当	51号情報誌委員会 9名（委員及び市担当職員、社協）
		2月19日	GL、担当	運営会議（利用状況報告、自主事業状況報告等）
実施結果				
施設の適切な管理運営がなされていた。				

※GL：グループリーダー